

事前にいただいた意見と事務局の考え方

No	意見	該当箇所	事務局の考え方
1	<p>総合計画に行革大綱を位置付けることの意味合いとそれぞれの役割を明示してください。</p> <p>ただ単に大綱を総計に持ってくるだけではないので、明確な考えと意味合いがいると思います。</p>	<p>資料4 5ページ 資料6 10ページ</p>	<p>総合計画と行政改革大綱を一本化することで、計画期間が揃えられるとともに、総合計画の各施策の評価に行政改革の観点を取り入れることで、各施策の費用対効果を高めるPDCAを回すことを目的としています。</p> <p>また、資料6 10ページの施策体系の図のように、総合計画の基本的施策に行政経営（行財政改革）が横串を差すイメージで、各施策の実現につながる事業のについて、行財政改革の考え方を踏まえて実施する考えです。</p>
2	<p>5年10億円の経常経費の削減目標は大綱にある5つの基本方針に基づいて取り組み、その結果としての数値目標です。独り歩きしたようですが、達成状況にとられることなく、5つの基本方針がどのように取り組まれたのが整理する方が大切だと思います。</p>	<p>資料7-2</p>	<p>資料7-2で「基本方針ごとの成果と課題」と財政状況や公共施設の状況の数値を更新したグラフをまとめています。財政状況については、アクションプランで直近の状況を記述する予定をしておりますが、その他については、総合計画の他の章とのボリューム感を統一するため、詳細まで記述しない考えです。</p>
3	<p>現大綱を見直すということですから、現大綱の7～17ページについては数値の更新が必要だと思います。</p>		
4	<p>「目指すべき方向性」ではどういうバックデータを用意すべきか、用意できるのかも考えてください。</p>	<p>資料4 11ページ</p>	<p>総合計画基本計画の第2章において、本市の財政状況や公共施設・デジタル化の現状など、「目指すべき方向性」のバックデータを記載しています。</p>
5	<p>デジタル化を具体的にもう少し踏み込んではどうですか？</p> <p>「1 行財政改革の必要性」 7行目 ” デジタル化の進展などの急激な社会環境の” →” 生成AIを含めたAI技術の急速な”</p> <p>「4 行動指針」 (4) デジタル技術・データの活用 ” デジタル技術を積極的に活用します” →” AI技術の急速な変化に適応した、より適切なAIの活用を推進していきます”</p>	<p>資料5</p>	<p>「4 行動指針」(4)デジタル技術・データの活用の文言を、「AIなどのデジタル技術を積極的に活用します」としました。</p> <p>AI技術を活用については、基本計画の第2章「デジタルが暮らしやビジネスで当たり前」に記述されるとともに、個別の事業については、行政改革アクションプラン又は総合計画アクションプランで記述していきます。</p>